

Contact: 広報担当:
クライアント・コミュニケーション・サービス部
マーケティングチーム
Tel: 03-5411-3790
E-mail: Tokyo-RIJ@russell.com

ラッセル・インベストメント株式会社
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ
www.russell.com

発信日: 2009年9月9日

ラッセル・インベストメント、本社をシアトル市のダウンタウンに移転

ラッセル・インベストメント(本社:米国ワシントン州タコマ市)は本社をワシントン州シアトル市のダウンタウンに移転することを発表いたしました。新しい本社の住所は 1301 Second Avenue で、2010年の移転に伴い、移転先の建物の名称はラッセル・インベストメント・センターとなります。

「ピュージェット湾の複数の地域を入念に調べ上げ、分析を行った結果、地価ならびに地の利、そして特にシアトルの不動産市場の現状を考慮すると、我々のビジネスが長期的な成長を遂げる上で、移転が最適な決定であると言う結論に達しました」とラッセル・インベストメント(米国)の社長兼 CEO のアンドリュー・ドーマンは述べています。

ラッセルは、シアトル市の不動産市場の現状が本社移転を検討するきっかけの一つとなったと語りました。「主要な検討要因が出揃うと、どれもが同じ結論へ導いているようでした」とドーマンは述べています。「同時に、この決断に失望する人々がいることも認識していました。我々は全ての要因を注意深く考慮し、最終的には我々のビジネスが長期的な成長を遂げるためには何が重要かということを中心に結論を出しました。」

ドーマンは、「本社移転の検討プロセスに時間を割き、リーダーシップを発揮してくださった連邦議会議員のノーム・ディックスとタコマ・パートナーシップに深く感謝します」と付け加えました。

ドーマンは最後に「シアトルへの移転はラッセルの社史に残る重要な出来事であり、多くの可能性に満ちた将来に向かって、ラッセルがさらに発展を遂げていく上で、重要な基盤となるでしょう」と述べました。

キンザー・リアル・エステート・サービスは、セネカ・リアル・エステート・グループ・インク、NBBJ、セレン・コンストラクション・カンパニーの協力のもと、不動産の調査を指揮しました。ラッセルはまた、社外弁護士であるデビッド・ライト・トレメイン、マッカラ・ヒルの協力を得ました。

以上

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 46 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 156 兆円※となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。

日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

(※ 2009 年 6 月末現在)

Copyright ©2009. Russell Investments. All rights reserved. ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。「ラッセル・インベストメントグループ」、「ラッセル・インベストメント」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。

このリリースの本文は、2009 年 9 月 9 日にラッセル・インベストメントが米国で発表したニュースリリースを基に作成したものです。